

さいたま市立中尾小学校 7月号(第523号)

令和8年6月30日

中尾小だより

〒336-0932 さいたま市緑区中尾2596-1

HP <http://nakao-e.saitama-city.ed.jp> TEL 048-873-0216 FAX 048-810-1120

知・徳・体の調和のとれた
心豊かな児童の育成
学びいっぱい 優しさいっぱい 元気いっぱい

音楽が育む未来 ～なかおっ子音楽会を通して～

校長 石田 成夫

梅雨の時期を迎え、雨の日が多くなりました。中尾っ子たちにとっては、外で思い切り遊ぶことができない日が増え、エネルギーをもて余す様子も見られます。その一方で、この雨は、グリーンランドの野菜や稲にとっては大切な恵みとなっています。畑ではぐんぐんと野菜が育ち、水田では青々とした稲が背を伸ばし、風に揺れています。理科の学習で水の循環を扱いますが、自然の営みの中における雨の役割の大きさを改めて感じる毎日です。

さて、6月3日に台風6号が関東地方の南岸を通過しましたが、登校時間帯から午前中にかけて関東地方に最接近するという予報により、各自治体で休校の判断が分かれる状況となりました。今回のケースでは、さいたま市の「気象警報発表に伴う一斉臨時休業の基準」には該当せず、緑区では全ての小中学校が授業を実施いたしましたが、同じ市内でも休業判断が分かれる結果となりました。自然災害への備えについては、地震や竜巻、ゲリラ豪雨のように予測が難しく突発的に発生する災害もあれば、台風のように、ある程度進路や規模を見通すことができるものがあります。こうした違いを踏まえ、事前に段階的な対応を準備したり、明確な判断基準を設けておいたりすることの大切さを強く感じたところです。今後も、子どもたちの安全と学びの保障を念頭に置き、状況に応じた適切な対応に努めてまいります。

また、6月13日には「なかおっ子音楽会」を開催し、保護者の皆様をはじめ、学校運営協議会の皆様にご来校いただきました。昨年度は記録的な猛暑により、途中の給水やプログラムの変更による時間短縮など、熱中症対策に細心の注意を払いながらの実施となりましたが、今年度はそのような心配もなく、子どもたちの歌声や演奏を存分にお聴きいただくことができました。



低学年の子どもたちは、リズムに合わせて体を揺らしながら元気いっぱいに歌い、覚えたばかりの楽器を楽しそうに奏でていました。一方、高学年になると楽器の扱いにも慣れ、それぞれのパートが息を合わせた見事な演奏を披露し、合唱では体いっぱいに響かせるような力強く澄んだ歌声と、複数のパートによる美しいハーモニーを聴かせてくれました。

音楽は学校で学ぶ教科の一つであると同時に、一人ひとりが生涯を通して、自分の好きな形で楽しむことのできるものです。歌うこと、楽器を演奏すること、聴くこと…最近は歌詞を入力するとAIが曲を作って編曲までしてくれるアプリがあり、私自身も中尾小の校歌の歌詞をもとに、新しく生成した曲をシティポップやハードロックに編曲してもらって、完成した曲を楽しんでいます。このような多様な関わり方を通して、音楽は私たちの生活を豊かにし、ときに疲れや悲しみを癒し、ときに前に進む勇気や元気を与えてくれます。中尾っ子たちにも、これからの人生の中で、音楽に長く親しんでいってほしいと願っています。

夏の訪れとともに、暑さも一段と厳しくなっています。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、くれぐれも健康にご留意いただきますようお願い申し上げます。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。